LAMP®

アーキテリアシャッター　垂直格納タイプ　取扱説明書

⚠ 警告

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、大切に保管し、わからないときは再読してください。

※建設会社・施主の皆様へのお願い
　この「取扱説明書」を実際にご使用される方にお渡しください。

SUGATSUNE

ごあいさつ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

製品をご使用になられる前に「ご使用上の注意」からお読みいただき「操作方法」「日常点検」などについて、十分ご理解のうえご使用ください。

また、「取扱説明書」に記載されている事項には、守らないと人身事故につながるおそれがあるものもありますので、よくお読みになり正しくご使用ください。

本製品を長年にわたって安心してご利用いただくためには、定期的な点検や部品交換・調整等が必要となりますので、定期点検契約を必ず結んでください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様に特に注意していただきたい事項には、下記のようなマークと見出しをつけております。
この取扱説明書の中で、これらのマークと見出しに出会ったら、記載内容に十分注意してお読みください。

⚠ **危険**	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険が切迫していることを示しています。
⚠ **警告**	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害の可能性のあることを示しています。

INDEX

⚠ ご使用上の注意
基本的な注意 ………………………… 3.4

1. 製品の概要
各部の名称 ………………………… 5.6

2. 操作方法
通常時の操作 ………………………… 7.8
停電時の操作(手動) ………………… 9.10

3. 関連機器
障害物感知装置(座板送信機) ……… 11
無線装置(リモコン) ………………… 12

4. 点検
定期点検 ………………………… 13
日常の点検 ………………………… 13

5. お手入れ方法と異常時の処置
お手入れ(清掃)について ………… 14
異常時の処置 ………………………… 14

製品保証について ………………… 裏表紙
定期点検について ………………… 裏表紙
メンテサービスセンター一覧表 ……… 裏表紙

●ご使用のシャッターの使用機器は下記の○印のものです。

電動開閉機	F6型	200V	
	F10型	200V	
	F36型	200V	

押ボタン	3点押ボタンスイッチ	
	無線装置（リモコン）	
手動操作	ハンドル式	
	チェーン式	
関連機器	障害物感知装置	

●耐久性能
設計耐久性能は、1万回または、10年です。（ただし保証値ではありませんので、使用環境・頻度、点検、お手入れ等により記載数値以下になることがあります。）

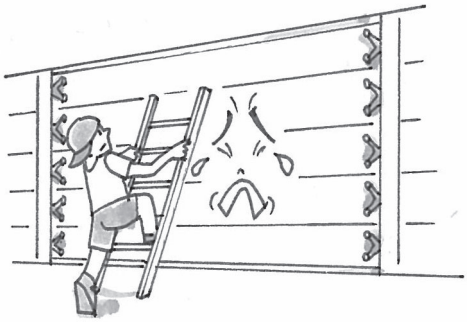
ご使用上の注意

⚠ 危険

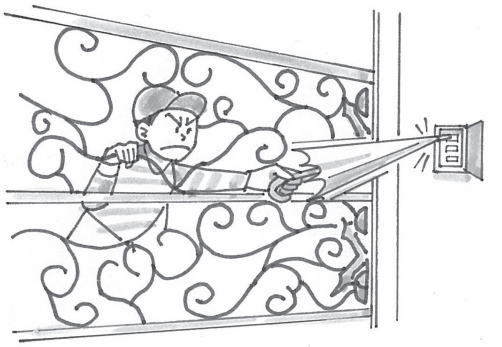
取扱いを誤った場合に、死亡または、重傷を負う危険が切迫していることを示しています。

基本的な注意

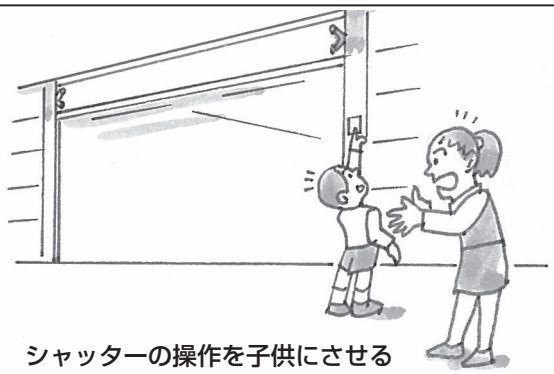
ロートアイアンタイプのシャッターに足を掛けたり、ぶら下がらないでください。



シャッターには、はしごや物を立て掛けないでください。シャッターが壊れるおそれがあります。



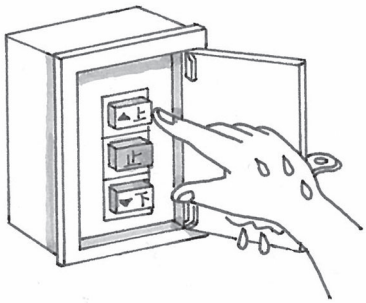
シャッターに物を掛けたり、手を差入れて押ボタンスイッチを操作しないでください。



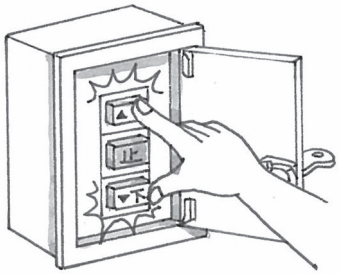
シャッターの操作を子供にさせるのは、絶対にやめてください。シャッターにはさまれ、けがをするおそれがあります。

⚠ 警告

人身事故または器物破損の可能性がありますので、次の注意事項を守ってご使用ください。



ぬれた手で押ボタンスイッチを操作しないでください。



押ボタンスイッチの《△上》《▽下》のボタンを同時に押さないでください。同時に押すと、内部の部品が破損しシャッターが動かなくなることがあります。

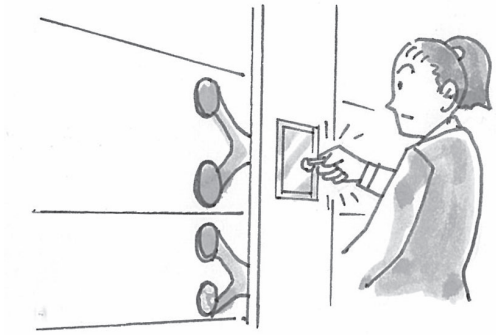
ご使用上の注意

⚠ 警告　人身事故または器物破損の可能性がありますので、
次の注意事項を守ってご使用ください。

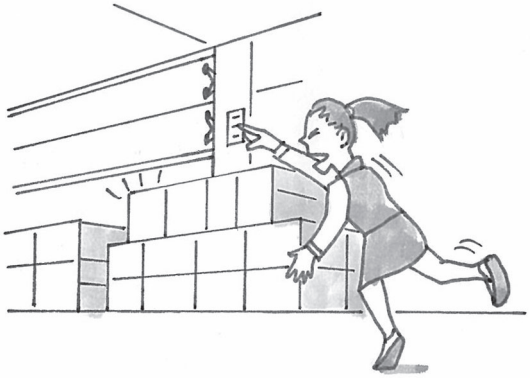
基本的な注意

シャッターが動いているときは、その下を絶対に「くぐらない」「くぐらせない」でください。

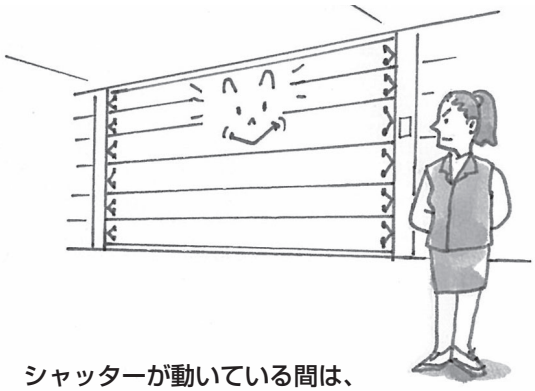
シャッターの開閉は、下に「人がいないこと」「物がないこと」を確認してから操作してください。



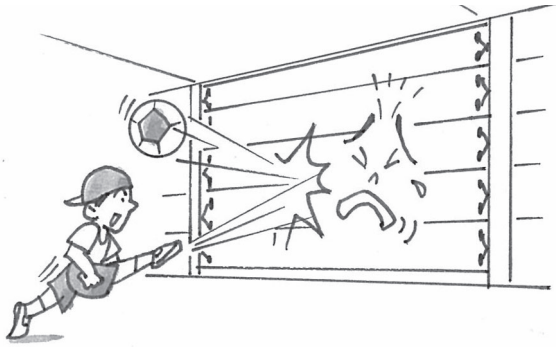
鍵付の押ボタンスイッチでは、操作終了後必ず鍵をかけてください。



スイッチのまわりに物を置かないでください。



シャッターが動いている間は、
押ボタンスイッチから離れないでください。



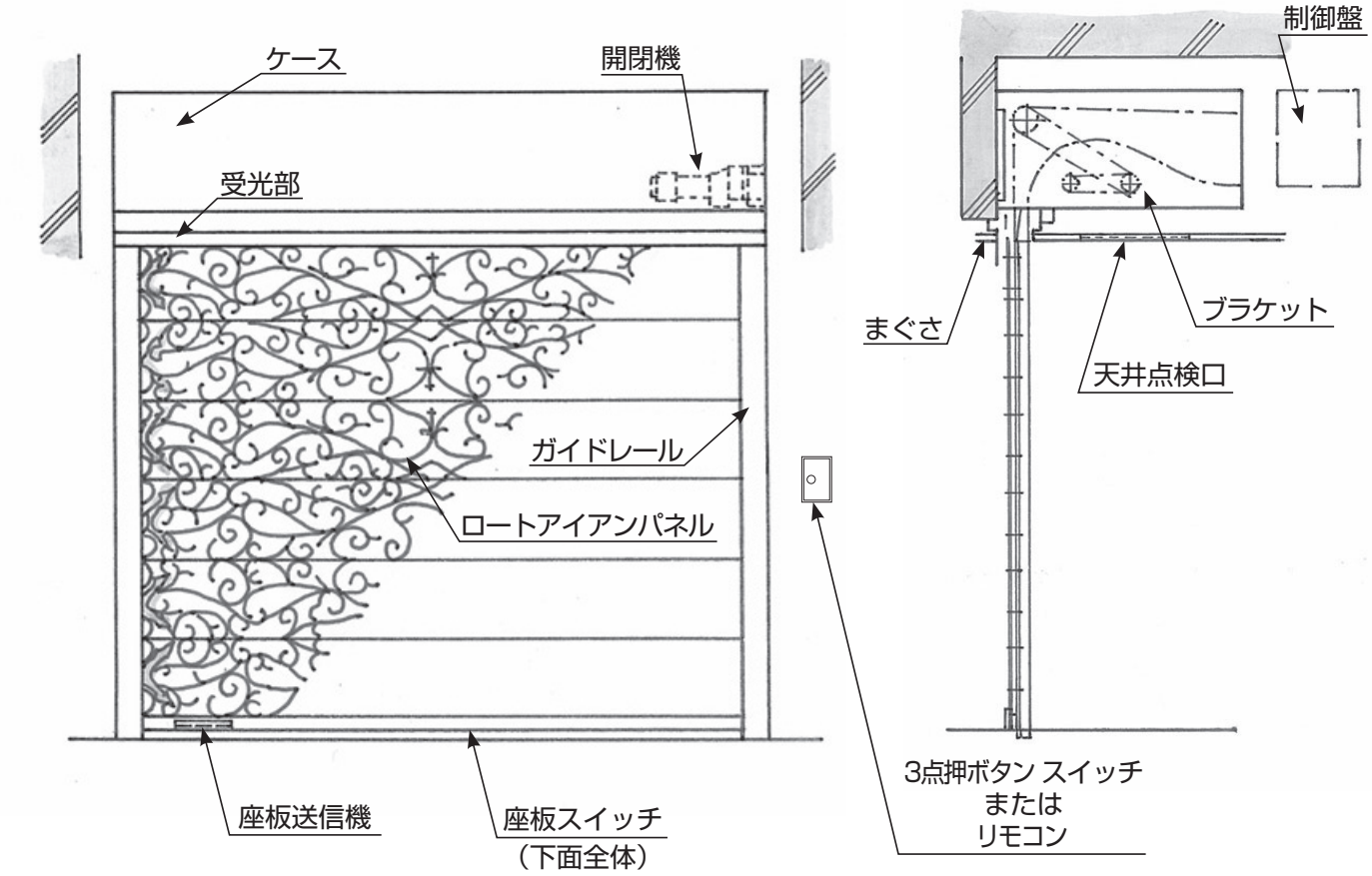
シャッターに物をぶつけないでください。
シャッターが壊れるおそれがあります。

1.製品の概要

各部の名称

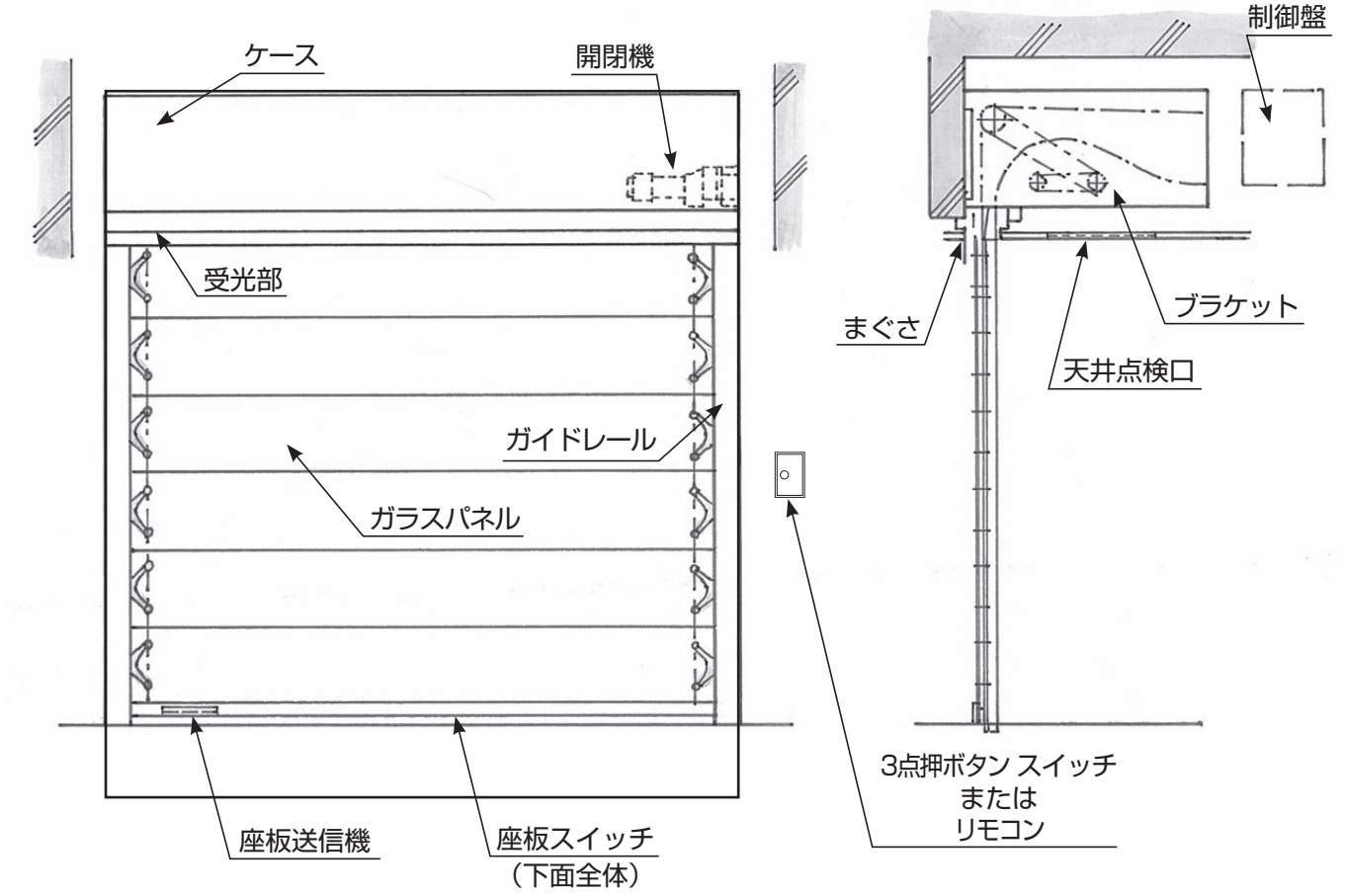
アーキテリアシャッターは内側にオフセットしたガイドレールにより、シャッター面と隣接壁が全面フラットになるため、今までのシャッターとは異なりシャッター面と支柱との段差を無くすことでシームレス（継目のない）壁面となる美しいデザインの製品です。この取扱説明書に記載されている内容をよくお読みいただき、ご使用ください。

ロートアイアンタイプ



各部の名称

ガラスパネルタイプ



2.操作方法

通常時の操作

⚠ 警告　操作前に必ず下記の事項を確認してください。

- ●シャッターを閉めるときは、シャッターの下に「人がいないこと」を確認してください。
- ●シャッターが動いているときは、その下を絶対に「くぐらない」「くぐらせない」でください。
- ●子供に操作させないでください。
- ●ぬれた手で押ボタンスイッチを操作しないでください。
- ●シャッターが動いている間は、スイッチから離れないでください。
- ●鍵付の押ボタンスイッチでは、操作終了後必ず鍵をかけてください（第三者によるいたずら防止のためです）。
- ●ロートアイアンタイプのシャッターに足を掛けたり、ぶら下がらないでください。
- ●シャッターに物を掛けたり、手を入れて押ボタンスイッチを操作しないでください。

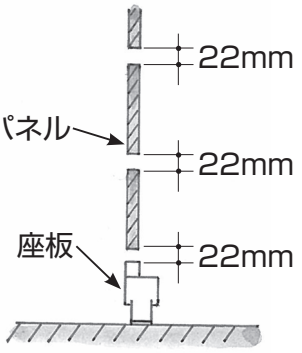
⚠ 注意　次のような使い方をしますとシャッターの故障を招く原因となりますのでおやめください

- ●シャッターを閉めるときは、シャッターの下に「物がないこと」を確認してください。
- ●押ボタンスイッチの《▲上》と《▼下》のボタンを同時に押さないでください。同時に押すと、内部の部品が破損しシャッターが動かなくなることがあります。
- ●シャッターの連続運転はなるべく避けてください。
- ●凍結状態でシャッターの開閉操作をしないでください。

シャッターパネル間隙間の閉鎖

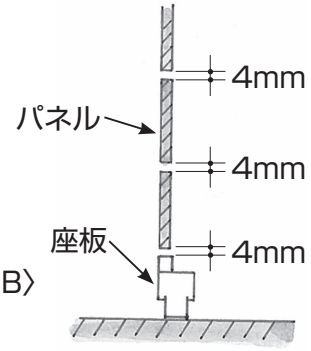
シャッターは、通常動作時パネル間隙間22mm（設計値）で動作しており、閉鎖時はそのままの状態で床面に停止します。〈図A〉
この隙間は、シャッター停止後押ボタンスイッチの「▼下」のボタン、押ボタン送信機の「下降」のボタンを押し切り操作することで、隙間4mm（設計値）になりシャッターは全閉となります。〈図B〉

通常動作時



〈図A〉

全閉時



〈図B〉

⚠危険

この操作時、人が指などを挟まないよう十分注意してください。

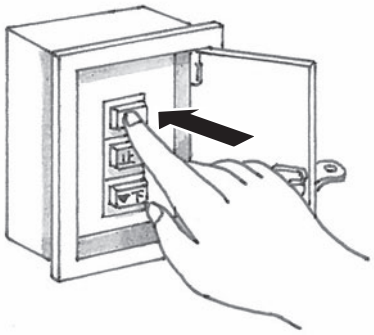
通常動作時各パネル間には隙間があり、人が押したりすると比較的容易に動きますが、全閉時にはパネル左右のガイドレールに挿入されている部分が重なり合うため、容易には動かなくなります。

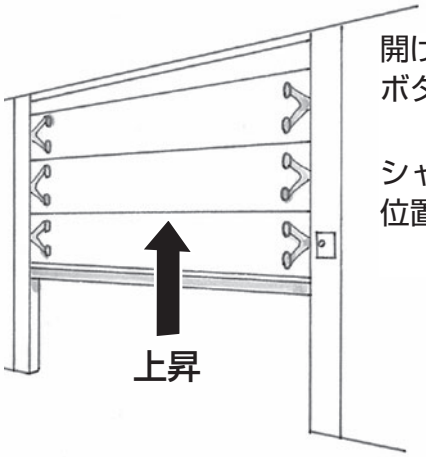
操作方法

⚠ 警告　人身事故または器物破損の可能性がありますので、
次の注意事項を守ってご使用ください

通常時の操作

開けるとき

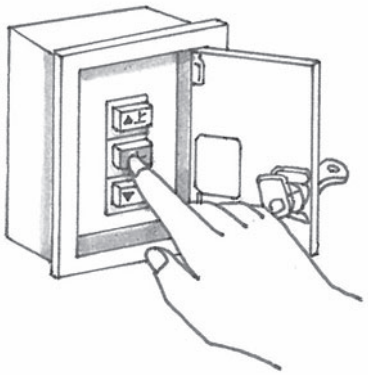


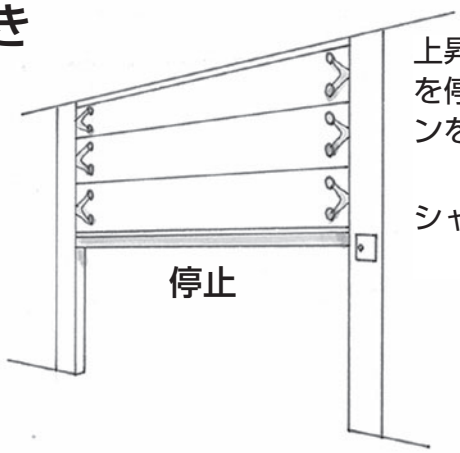


開けるとき（上昇）は、「▲上」ボタンを押してください。

シャッターは上昇し、上限設定位置で自動停止します。

途中停止するとき

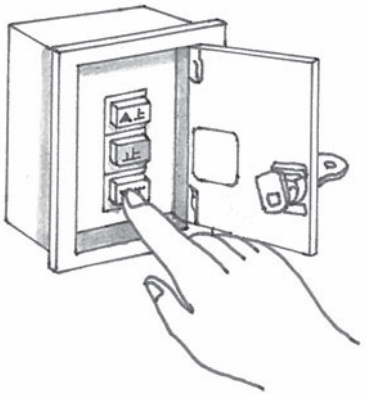


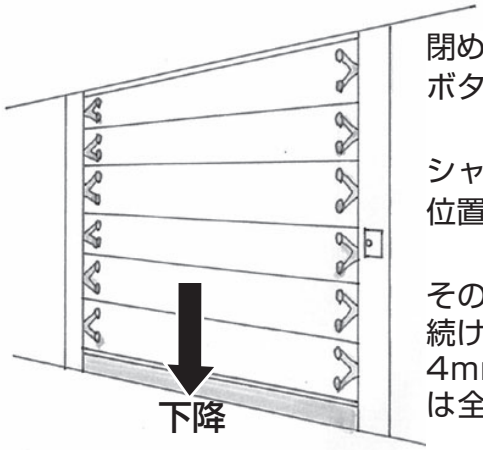


上昇または下降中のシャッターを停止させるときは「止」ボタンを押してください。

シャッターは停止します。

閉めるとき





閉めるとき（下降）は、「▼下」ボタンを押してください。

シャッターは下降し、座板着床位置で自動停止します。

その後、《▼下》ボタンを押し続けるとパネル間隙間22mmが4mmまで下がり、シャッターは全閉となります。

停電時の操作（手動）

⚠ 警告

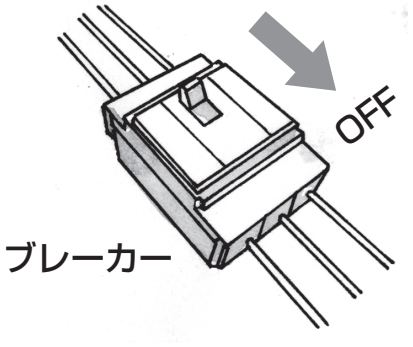
停電時の操作は「緊急必要時以外」は行わないでください。やむをえず操作をする場合は、下記の事項を確認してください。

- ●高所作業になるため不安定な姿勢にならないよう、足場を確保して十分に安全を確認してからかかってください。
- ●シャッターを閉めるときは、シャッターの下に「人がいないこと」を必ず確認してください。
- ●操作の前にまず点検口を開けてシャッターの制御盤（各部の名称を参照してください）内のブレーカーを切ってください。ブレーカーが入ったまま作業をすると途中で停電が復帰した場合、急にシャッターが電動で動いて人がはさまれるおそれがあります。
- ●ハンドルは使用後必ず取り外してください。付けたまま電動で操作するとハンドルが高速回転し、外れて人に当たりけがをするおそれがあります。
- ●ハンドルはしっかり持って操作してください。

⚠ 注意

次のような使い方をしますとシャッターの故障を招く原因となりますのでおやめください。

- ●シャッターを閉めるときは、シャッターの下に「物がないこと」を確認してください。
- ●シャッターが上限付近に達したときは、ハンドルの操作をやめてください。さらに操作をつづけるとシャッターが巻込みすぎになり使用できなくなるおそれがあります。



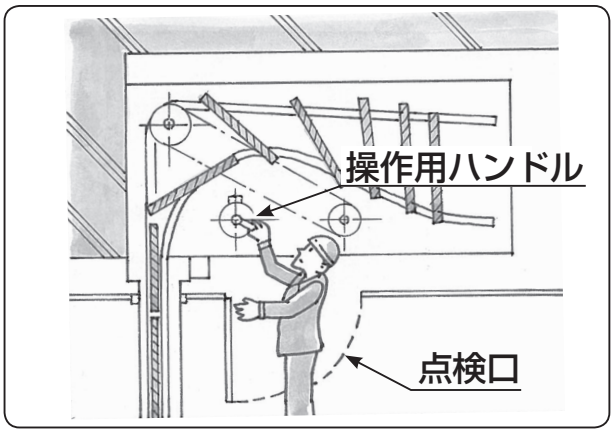
停電時の操作の前にまず制御盤内のブレーカーを切ってください。

操作方法

⚠ 警告 人身事故または器物破損の可能性がありますので、次の注意事項を守ってご使用ください。

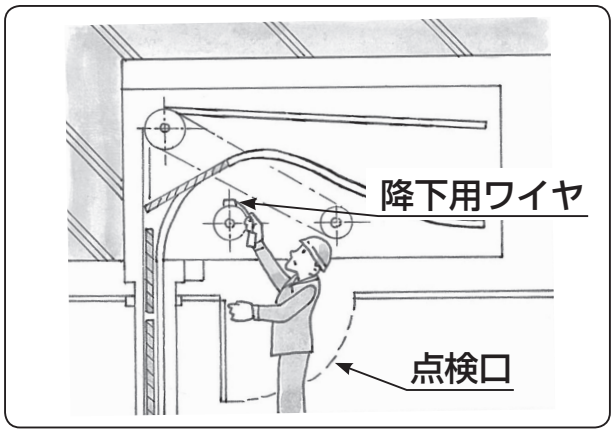
停電時の操作（手動）

開けるとき



①点検口を開けて、手動操作（ハンドルまたはチェーン）でシャッターを巻き上げてください。
②シャッターは上昇します。
③シャッターを上限設定位置まで上昇させ、巻き上げ操作を止めてください。

閉めるとき

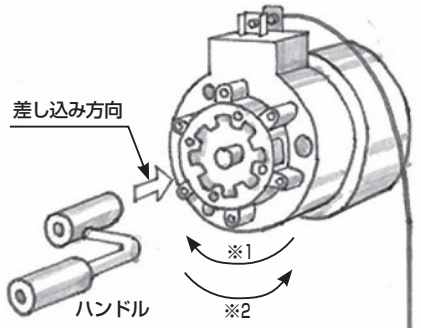


①点検口を開けて、降下用ワイヤを取り出して下に引いてください。
②シャッターが降下します。
③シャッターが座板着床位置に達したときワイヤを引くのを止めてください。

開閉操作が終わりましたら、必ず点検口を元通り閉めてください。

ハンドル式

開閉機に付属のハンドルを開閉機の差込口に差し込んで回してください。



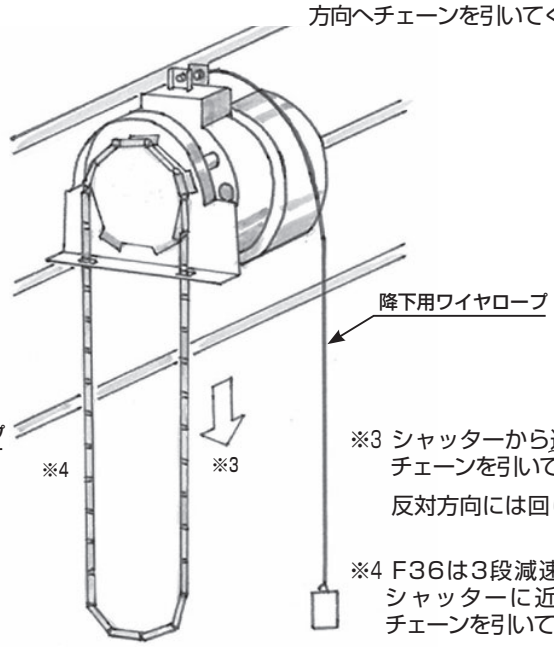
※1 ハンドルは一定方向にのみ回ります。
ハンドルは反対方向へ回りませんので回転する方向にまわしてください。

※2 F36は3段減速なので矢印の方向に回してください。

降下用ワイヤロープ

チェーン式

開閉機に付属のチェーン（鎖）を点検口から下へのばし、からんでいないことを確認してください。次に表示の方向へチェーンを引いてください。



※3 シャッターから遠い方のチェーンを引いてください。
反対方向には回りません。

※4 F36は3段減速なのでシャッターに近い方のチェーンを引いてください。

3.関連機器

障害物感知装置ー座板送信機の取扱いについて

⚠ 警告

- 「座板送信機」と「受光部」の間に送信の障害となるものは取りつけないでください。
- 送信面（黒色部）を絶対に遮へいしないでください。また、送信面にゴミ等が付着すると障害物感知機能・緊急開放機能が正常に作動しなくなることがあります。
- 「座板送信機」には水等をかけない様にしてください。
- 「座板送信機」の電池の寿命にご注意ください。障害物感知機能・緊急開放機能が作動しなくなります。
- 電池交換の際、「コード切替スイッチ」には触れないでください。

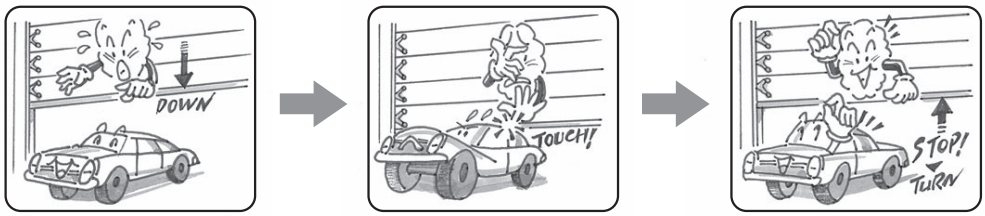
⚠ 注意

- シャッターに物を立てかけないでください。ガイドレールの間近と上限から200mm程度では障害物を感知しません。
- 障害物に接触したシャッターは、反転上昇→停止し、開いたままになりますので、必ず閉鎖の確認をしてください。

動作説明

電動降下中にシャッター下部の座板スイッチが障害物に接触すると、座板スイッチが作動しシャッターはいったん停止（約1秒間）し、反転上昇（約5秒間）し停止します。

※機構上、上部200mm程度は感知しません。



1. シャッターが降下…
2. 障害物に接触…
3. シャッターは停止、反転上昇して停止

電池交換

電池の寿命は使用頻度、保管状態にもよりますが、1日2回の送信で通常約1年です。

使用電池／アルカリ乾電池単4（LR03）×4本　※マンション等で大勢の方が使用される場合は短くなります。

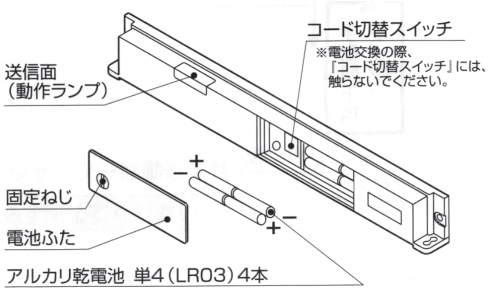
●次の場合は、電池電圧が下がっていますので、すぐに電池を新しいものに交換してください。

障害物を感知した場合／緊急開放した場合
「受信機」のブザーが“約2秒間鳴り、約1秒間休止”を5回繰り返す。
「座板送信機」の送信面（動作ランプ）が“約2秒間”点滅する。
その後の押ボタン操作時
「リモコン」の押ボタンを押している間だけしかシャッターが動かない（押し切り操作）

［電池交換要領］

1. 固定ねじをゆるめ電池ふたを開け、古い電池を取りはずします。
2. 新しい電池を極性（＋ー）に注意してセットします。（4本とも新しいものに交換してください）
3. 電池セット後は、電池ふたを元にもどしてください。

※電池交換後は、シャッター本体下部の可動部分を手で押すことによって、押し切り操作状態が復旧します。



シャッターの閉鎖時に「受信機」のブザーが約30秒間（連続音）鳴り、その後の開閉操作で「3点押ボタンスイッチ」「リモコン」の押ボタンを押している間しかシャッターが動かない場合（押し切り操作）は、座板スイッチまたは「座板送信機」が故障しています。裏表紙に記載のメンテサービスセンターまでご連絡ください。

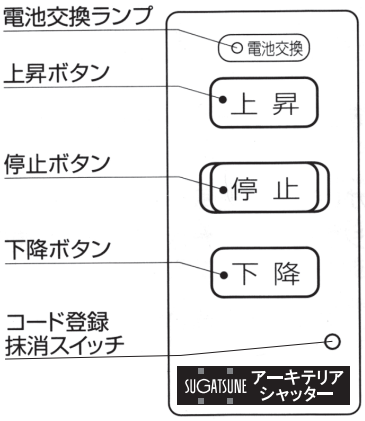
無線装置ーリモコン

⚠ 警告

●固定操作の場合、雨水のかかる場所への設置はおやめください。
●固定操作の「リモコン」のまわりに物を置かないでください。
●「リモコン」の上には物を置かないでください。（意図されない状態で電波が発信され危険です。）また、故障の原因になります。
●操作前に障害物がないことを確認してください。また、操作中は人や車の出入りは絶対におやめください。
●ぬれた手で「リモコン」を操作しないでください。
●「リモコン」の操作は、必ずシャッターの動作が見える所からおこなってください。
●シャッターが動いている間は、いつでもシャッターを止めることができるように「リモコン」から離れないでください。
●開閉が完全に終了したことを確認してください。

⚠ 注意

●「リモコン」のボタンは軽いタッチで動作しますので、強い力を加えないでください。
●「リモコン」は直射日光などにより高温になる場所（車の中）や、湿気の多い場所に放置しないでください。
●「リモコン」に落下等の衝撃を与えないでください。
●「リモコン」を分解しないでください。
●「リモコン」に電波式無線中継局等からの強電界の電波が加わった場合、送信距離が短くなったり、動作しにくいことがあります。また、非常に強力な電波（不法CB等）が加わった場合、誤作動するおそれがあります。
●周囲の環境により送信距離が異なります。
●「リモコン」の電池の寿命にご注意ください。



操作時には、送信機のブザー音が鳴ります。

操作種類	押ボタン	ブザー音
開放するとき	① 停 止 を押します ② 3秒以内に 上 昇 を押します	「ピッピッ」と鳴ります
途中で止めるとき	停 止 を押します	「ピッ」と鳴ります
閉鎖するとき	① 停 止 を押します ② 3秒以内に 下 降 を押します ③ 座板着床後、全パネル間の隙間4mm迄下降するよう、下 降 ボタンを押し切り操作します。	「ピーッ」と鳴ります

押ボタンは誤操作を防ぐため、面落ちさせてあります。

●動いているシャッターを反対方向に動かすときは、「停止」を押してシャッターをいったん停止させてから反対方向の押ボタン操作を行ってください。
●（上昇）（下降）の押ボタンは、押し続けなくても上限または座板着床まで動き、自動的に停止します。
（（上昇）（下降）の押ボタンを押している間しかシャッターが動かない場合は、「リモコン」の電池切れです。
また「リモコン」の電池交換ランプが約2秒間点灯したり、ブザーが約2秒間ピーッと鳴る場合も電池を交換してください。）

［電池］
リチウムボタン電池（CR2032）×1コ

［電池交換要領］
1.ケース本体を下部の溝にコインをはめ込み、こじ開けます。
2.裏ふたにセットされている古い電池を取りはずし、新しい電池を極性（＋ －）に注意してセットします。
3.電池セット後は、裏ふたとケース本体を元にもどしてください。（パッチンと音が鳴ります。）

4.点検

定期点検

⚠ 警告

定期点検は必ず行ってください。適切な定期点検を行わないと人身事故や重大な事故につながるおそれがあります。
東洋シヤッターに定期点検作業をご依頼ください。東洋シヤッター以外の点検につきましては重大事故になる場合があります。

一般のシャッターよりさらに高度な特性を持つ本製品を維持するためには、定期点検が必要不可欠です。
定期点検で、機能低下や不慮の事故、故障による不作動を予防し、末長く使用していただけます。必ず定期点検契約を結んでいただき、東洋シヤッター専門点検技術者による点検と保守を行っていただきますようお願いいたします。
<ご連絡先は裏表紙を参照願います。>

日常の点検

⚠ 警告

必ず以下の日常点検行ってください。日常点検を行わないと人身事故や重大な事故になる場合があります。
日常点検で不具合を発見した時は、ただちに操作を停止して裏表紙に記載していますメンテサービスセンターまでご連絡ください。

- シャッターの下に「人がいないこと」周囲に「物がないこと」を確認してから作業にかかってください。
- 障害物感知装置の送信面、受光面にゴミ等が付着すると障害物感知装置が正常に作動しなくなることがあります。

■シャッターを動かす前の確認

- 押ボタンスイッチはすぐに操作できる状態になっていますか。
- シャッターのパネルやガイドレールに物を立て掛けていませんか。
- 電池を使用している部分の電池の寿命が切れていませんか。

■シャッターを動かしている時の確認

- シャッターを動かした時、異常音や異常振動がありませんか。
- 開閉動作中に停止ボタンを押した時、すぐに停止しますか。
- 上限、座板着床、下限の正しい位置で停止しますか。
  上　　限＝シャッターの下端（座板）がケースの下面とほぼ平行になる位置。
  座板着床＝シャッターの下端（座板）が着地する位置。
  下　　限＝押し切り操作により、下降後全パネル間の隙間4mmで停止。
- 3点押ボタンスイッチで、押ボタンを押し続けないと動かないことはありませんか
- パネルやガイドレールに変形はありませんか。
- ケースや天井から油漏れはありませんか。

5.お手入れ方法と異常時の処置

お手入れ（清掃）について

⚠ 警告　お手入れ(清掃)を行う時は下記の事項を必ず注意してください。

- ●高所作業の場合は足場など安全を確保してください。
- ●押ボタンスイッチなど電装品に水が直接かからないよう注意してください。
- ●清掃中、他の人がシャッターを開閉すると大変危険です。必ず「清掃中」とわかるような表示をしてください。

●ロートアイアンパネルやガラスパネル、座板、ガイドレール等の表面のほこり、塩分等はさび発生の原因になりますので定期的に清掃してください。

●ステンレス部分も周囲の環境によりさびが発生する場合があります。
定期的にステンレスクリーナーで清掃してください。

●落ちにくい汚れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかい布かスポンジで洗ってください。
洗剤を使用した後は、真水に浸した布で洗剤を除去してください。

●ほこりがたまりやすい所は、必要に応じハケなどでほこりを除き、中性洗剤で洗いさらに真水に浸した布で洗剤を除去してください。

●洗った後は、乾いた布で水分を拭き取ってください。

●シャッター最下部についている座板スイッチが汚れたときは、水をかけないで、汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

※酸性アルカリ性の洗剤を使用しないでください。

※金属たわしやワイヤブラシ、金ベラを使用しないでください。

※ご使用の洗剤に書かれている注意書きを良く読んで正しくお使いください。

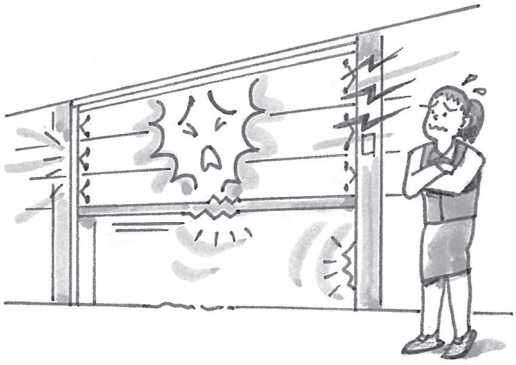
※シャッターの機構上、正常な使用方法でも開閉回数を重ねるとパネルの付属部品やガイドレールなどの接触部では磨耗、傷、音が発生する場合があります。

※ベンジン、シンナー、トルエンなどの有機溶剤入り洗浄剤などは使用しないでください。

異常時の処置

正常に作動しない場合や、異常を発見した場合は、裏表紙に記載のメンテサービスセンターまでご連絡ください。

- ●動かしたとき、異常音や異常振動がある。
- ●シャッターが傾いて水平に動かない。
- ●パネルやガイドレールが破損、変形している。
- ●上限、下限の正しい位置で停止しない。



製品保証について

⚠ 注意 この製品の保証に関する説明です。
保証期間・保障内容などを確認してください。

対　　象：アーキテリアシャッター
保証期間：製品引渡し後　1年間 または 1,400回
保証内容：取扱説明書の「ご使用上の注意」に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合は無償修理いたします。ただし、最寄りの弊社営業所より100km以上はなれた地域および離島の場合は、交通に要する実費をいただきます。また、保証期間中でも、次の場合は有償となります。

1. 使用上の操作誤りによる故障および製品の損傷。
2. 不当な修理や改造による故障および製品の損傷。
3. 構成材であっても弊社供給責任範囲外のものの故障および製品の損傷。
4. 環境および使用状態が悪い場所での故障および製品の損傷。たとえば、海岸地帯での塩害による製品の損傷、車の排気ガスの反応物質が付着して起こる腐食、低温・多湿による故障および製品の損傷。
5. 火災・地震・風水害・落雷などの天災地変による故障および製品の損傷。自然損耗による故障および製品の損傷。

定期点検について

シャッターの機能や安全性を継続的に維持し、正常な状態でご使用いただくためには、年に1～2度以上の定期点検が必要です。この定期点検には、専門知識と高度な技術が必要であり、危険も伴いますので、熟練した東洋シヤッターのサービスマンによる定期点検の実施をお願いいたします。

定期点検契約について内容が不明な場合は、下記のメンテサービスセンターまでご連絡ください。

■東洋シヤッターメンテサービスセンター 一覧表

東　京メンテサービスセンター	TEL 03-6738-3650	FAX 03-3639-0554
横　浜メンテサービスセンター	TEL 045-290-7550	FAX 045-314-3562
名古屋メンテサービスセンター	TEL 052-352-8071	FAX 052-352-8070
京　都メンテサービスセンター	TEL 075-671-3367	FAX 075-671-1080
京　阪メンテサービスセンター	TEL 072-825-8555	FAX 072-822-3937
大　阪メンテサービスセンター	TEL 06-6390-6400	FAX 06-6390-6410
南大阪メンテサービスセンター	TEL 072-276-7650	FAX 072-277-5852
神　戸メンテサービスセンター	TEL 078-435-6371	FAX 078-435-6373
福　岡メンテサービスセンター	TEL 092-611-7110	FAX 092-611-7114

緊急修理等のご用命はARM（オール・ラウンド・メンテナンス）
フリーダイヤル シキュウ トウヨウ
0120-49-1080　《365日 24時間受付》

■品質の向上を目的に設計仕様内容を変更する場合がございます。

製造元 東洋シヤッター株式会社

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

電話番号 03（3864）1122
受付時間　月～金　9:00～17:30（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03（3863）6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー
ISO 9001（JSAQ384）・ISO 14001（JSAE597）審査登録
※ISO9001：物流 WEST を除く、国内拠点　※ISO14001：千葉工場および物流センター（SBC）
http://www.sugatsune.co.jp/
2018.10　0464-3